

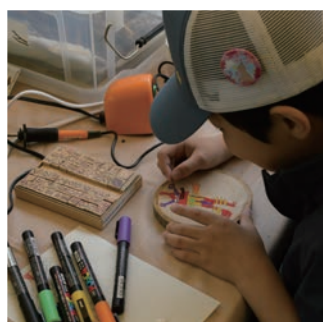


6月14日(土)から22日(日)までの期間、上里ノンの森で「くりん草ウィーク2025」が開催されました。会場では、ちようどくりん草が満開を迎え、鮮やかな花が訪れた人たちを出迎えました。期間中は「木育フェスタ」も行われ、マイ箸づくりや森のプレートづくり、フォトスタンドづくりなど、森の素材を使ったクラフト体験コーナーが用意されました。ほかにも、ツリーイングや森の散策ガイドツアーなどの体験プログラムも実施され、多くの来場者でにぎわいました。

フォトレポート



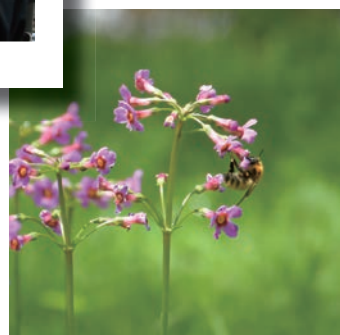
▲マイ箸づくり



▲森のプレートづくり



▲フォトスタンドづくり



▲くりん草と密蜂



▲ツリーイング体験

地域おこし協力隊の安達隊員が SNS を配信！



▲マイ箸づくり体験の様子



▲各種 SNS はこちら！
登録をお願いします



愛知県出身
津別町の情報を SNS で発信。
タウンニュースつべつのキャスターも担当。

くりん草ウィークの写真や安達隊員の体験している様子は各種 SNS で発信しています。

他にも津別町の情報を発信しているので、上記二次元コードからご確認ください。

北海道と日本をつなぐ“出島”

「EZOHUB TOKYO」は、東京・天王洲アイルにあるサツドラホールディングス株式会社が運営する施設で、北海道の自治体や企業、学校などの東京拠点として活用されています。仕事やイベントの場として使えるだけでなく、人や情報がつながる交流拠点として、リアルとオンラインの両面から“北海道と日本をつなぐ出島”の役割を担っています。



▲EZOHUB TOKYO の外観

東京を拠点とした タウンプロモーションの推進

プロジェクトの目的と概要

津別町は、東京の中心地に新たな拠点「津別町東京ツナガル拠点」をEZOHUB TOKYOに開設しました。この取り組みは、企業や個人との繋がりを強化し、津別と首都圏の橋渡しとなる新たな取り組みです。

津別町の豊かな資源（自然、人材、企業）と首都圏の活力を結びつけることで、新たな可能性を創出します。企業との協業による地域課題の解決、移住及び二地域居住の促進、観光振興など、多角的な展開を目指しています。

初年度は職員を年間の3分の1程度配置し、効果検証を行います。取り組みの成果が期待通りであれば、職員を常駐させた本格的な事務所開設へと発展させる計画です。

企業との繋がり強化戦略

ワーケーション（注1）や企業研修の誘致、地元企業との協働による商品開発なども視野に、双方にメリットのある関係構築を目指します。

東京の拠点では、まずは関係構築を狙い積極的にアプローチし、きっかけづくりを展開しつつ、津別町の魅力や可能性を直接伝える場として、企業向けのセミナーやマッチングイベントなどへの参加や、

独自イベントも開催していく予定です。

津別町は、

この東京拠点を通じて、多

くの企業や個人との新たな

つながりを創

出し、広げて

いきたいと考

えています。

町民や町内事

業者の皆さま

にも、本プロ

ジェクトの目的や活動をご理解いただき、今後の展

開にご注目いただければ幸いです。

「こうした取り組みに自分たちも関わられるのでは

ないか」「地域の強みとして発信できそうな素材が

ある」など、皆さまからのご意見やご提案がある場

合は、お気軽に連絡ください。

津別町は、首都圏と繋がることで生まれる新たな

価値や可能性を、地域活性化へつなげていけるよう、

首都東京での挑戦を始めたところです。

（注1）ワーケーションとは、「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語で、普段の職場とは異なる場所で、仕事をしつつ休暇も楽しむ新しい働き方・滞在スタイルです。



▲EZOHUB TOKYO の内観